

神奈川県立湘南支援学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記の通り開催しました。

審議会等名称	令和5年度 第1回湘南支援学校運営協議会		
開催日時	令和5年6月12日(月) 9:30~11:30		
開催場所	湘南支援学校 校長室		
出席者	学校運営協議会委員7名 本校職員8名		
次回開催予定	令和5年8月24日(木) 9:30~11:00		
問い合わせ先	神奈川県立湘南支援学校 副校長 高田 君恵 電話 0463-34-7244 FAX 0463-34-8707		
下欄に掲載するもの	議事録	公開を概要とした理由	
審議・会議経過	<p>【学校運営協議会】</p> <p>1 学校長挨拶 5月8日より感染症法上の位置づけが変わった。新型コロナウイルス感染症がなくなったわけではないが、少しずつ地域との関わりを広げたい。</p> <p>2 運営委員紹介・委員委嘱状交付及び事務局紹介 委員長選出 副委員長選出・・・承認 (欠席者) 1名</p> <p>3 学校運営協議会の運営等について 運営協議会委員 と組織体制について ○防災安全部会 ・避難訓練時に2回部会を持つ ・自衛防災訓練(7月19日(水)14時~に参加いただけたらお願いしたい) ○切れ目ない支援部会(年間2回計画) ・動画配信の充実 ・進路状況についての意見交換 (福祉事業所へのアンケートを新規で実施) (近隣高校との相互の授業参観)</p> <p>〈質問・意見〉 ・合同説明会については、いろいろなところとつながり、縦割りでなくなってきたとてもよい。学習会等も企画され、うまく回ってよかった。 ・受け入れ側がどのように湘南支援ブランドを受け入れていくかは今後の課題。 ・学校運営に保護者や地域の声を反映し、より良い教育の実現を目指す姿勢は素晴らしいと思います。</p> <p>4 令和5年度学校運営について (1) 運営方針、学校運営組織等について説明 ・湘南養護→湘南支援に校名変更 ・部→グループ、係→班に統一した。</p> <p>〈意見・質問〉 ・グランドデザインは、デザイン化されていて見やすい。湘南支援ブ</p>		

ランドは何か？はわかりにくい。

→湘南支援ブランドは研究でまとめた教育方法。これらを通じて、教育目標を達成させていくイメージを示している。視覚支援やコミュニケーション方法など。他の学校だと「メソッド」と言っている。

・湘南支援ブランドをもっと打ち出せるとよい。学校運営協議会も、地域との連携なので「地域とともに」というところに入れるとよいのでは？つけたい4つの力の「楽しむ」はどのような位置づけか？

→将来、自立と社会参加をしていく上で、ただ働くではなく、楽しむことも大事にしている。キャリア教育の視点から、個別教育計画をこの4つの視点で立てて、教育活動も行っている。

・学校時代から、もちろん家庭でも趣味となることを見つけられるようにしていけるとよい。進路指導担当の専門性の向上についてはどのようなことがあるか？

→進路担当としての県の研修がある。校内でも研修会などを企画している。

・小学部から高等部までの一貫した教育活動の実践、さらには一人ひとりの障害に応じた就労支援の取組により、自立と社会参加につながるものと思います。

学校運営の基本的方針について → 承認

【学校評価部会】

1 学校評価（目標設定）について説明

2 教育活動見学

高等部リーダーより、現場実習について説明（資料：進路支援通信）
高等部の校内実習を見学

3 意見交換

・作業はとても落ち着いて集中し行っていて感心した。

・初めて見学したが、教室の狭さにびっくりした。地域の小中学校はもっと広い。

・細かい作業に落ち着いて取り組んでいた。手際よくやれるように準備されていた。

・教育の原点に戻ったような気がした。落ち着いた中で作業しているのが印象的。

・生徒から挨拶しているのがとても良いと思っている。作業の方も根気よくやっており、仕事に向けての意識もできていると感じた。

・フリクションペンやアラミドを実習材料として選んでいるところはよいと感じる。

→進路担当を中心に実習材を考えている。実習期間は普段と違った作業を行う。商品になるという緊張感が大事である。

→実習材を集めるのが大変であり、半年前から準備をしているが、なかなか集まらない状況で苦勞している。閉店となった本屋の漫画をきれいにしてメルカリなどで売れる状態にする実習材も扱っている。商品になるので、髪の毛が入らないようにするなど、衛生面にも注意してできるように身支度を整えるなど環境にも配慮している。

→子どもに合った仕事や環境を整えることで落ち着いて作業できているという印象につながっている。ミスをしないために、どのような作業にして点検をするか、など環境を整えることも大事である。自閉症の生徒は一つのことを長くやったり、同じパターンで行ったりする方が、見通しを持って安心する生徒もいる。

- ・アートのものは難しいか？
- アートについては美術で行っているのですが、学校としては作業では行っていない。事業所で行っているところはあると思うが。
- ・アートになるかどうか分からないが JAL の特例子会社ではネイルなどを行っている。
- ・発達障害の方の中には細かいことが得意な方がいるが、そういう特性を生かした何かはできないか。
- ・描いた絵をレンタルする、というような特例子会社もある。絵や写真のコンテストなどに
- ・本特例子会社の従業員が出したりもしていて、励みになっている。
- 7月に予定されている平塚市役所で行う作品展も見ていただきたい。
- ・防災安全部会の活動についてはどうか？
- ・地域の防災訓練が11月にあるので、湘南支援学校として是非参加してほしい。
- 地域における災害時の情報はどのように伝わるか参考に教えてほしい。
- ・市からの情報は防災ラジオで受け取る。避難所を開催するときは、電話で連絡がある。今回の雨ではこの地区は該当しなかった。あとは防災無線で連絡。
- 川の増水の具合によって、学校では休校にするかどうか判断材料の一つである。河川の様子がわかる情報カメラはチェックしている。
- ・河川環境を調整するための鈴川、渋田川の掘削工事において、改善されているが、田んぼの泥でまた何年もつかわからない。
- ・「さんづけ」呼称について。教員同士はどのように呼んでいるか？
- 教員同士は「〇〇先生」と呼ぶことが多い。児童生徒については、職員室でも「さんづけ」を心がけていきたい。
- ・進路について保護者のニーズとはどのようなものか？
- 学校評価アンケートで進路に対するニーズが高かったがどのような内容かについては今年度把握のために保護者アンケートを取る予定である。どのような見学をしたいのか、どのような制度を知りたいのかなど。
- ・ヒヤリハットはどのくらいあがるか？
- 月に2~3件か。大きな事故につながらないための報告なので、小さなことを報告して、事故が防げるとよいと思っている。
- ・重大ヒヤリハットを当社では行っているのですが、参考になれば。
- 朝の打ち合わせ等で周知している。教員はパソコンを見る時間が限られているので、口頭でも伝えている。
- ・様々な視点ごとに目標を掲げ、具体的な方策と評価の観点を明確に示すことにより、達成具合も分かりやすいと思います。
- (インクルーシブハブショウナンについて)湘南ベルマーレ、湘南ジャーナルさんを中心に平塚の特別支援学校4校の連携等を通じて立ち上がった。具体的に、ビーチクリーンのイベント等も声をかけていただいている。湘南ベルマーレの選手が学校見学をしたり、本校生徒が試合を見に行ったりするなどは昨年度から計画している。土日の活動が多いので、土日に通っている事業所との連携も必要かと思っている。
- ・今後、協力はしたいと思っているが、どのように関わっていけばよいか。福祉だけでインクルーシブはできないので。
- これから、いろいろな可能性が出てくると思われるので、今後また具体的な話があったら相談させてほしい。